

brother

バーコードリーダー

PA-BR-001

ユーザーズメニューブック

ブラザー工業株式会社

- 本書の内容につきましては、万全を期して作成致しましたが、万一ご不審の点やお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売店またはブラザーコールセンターにご連絡ください。
- 本書の一部また全部を無断で複製することは禁止されております。個人としてご利用になるほかは、著作権法上、弊社に無断で使用することを禁じます。
- 本書の内容は改良の為予告無く変更する場合があります。

はじめに

このたびは、バーコードリーダー PA-BR-001 をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本書では、メニューバーコードによるバーコードリーダーの機能設定方法について説明します。

本書は下記の 3 部で構成されています。

- | | |
|-------|--------------------|
| 第 1 部 | メニューバーコードの設定方法と初期化 |
| 第 2 部 | 読み取りコードの設定 |
| 第 3 部 | バーコードリーダーの動作設定 |

第 1 部では、通常読み取り動作状態から各種設定を行うための手順とご留意いただく点、そして初期設定(工場出荷時設定)状態に戻すメニューバーコードを記載しております。

第 2 部・第 3 部では、お客様の使用状況に合わせて、読み取りコードの設定とバーコードリーダーの動作設定を変更することができます。

目次

第 1 部	メニューバーコードの設定方法と初期化	1
1.	メニュー設定状態への移行と設定完了	1
2.	メニューバーコードの読み取り	1
3.	デフォルトオプション	3
第 2 部	読み取りコードの設定	4
1.	単独読み取り許可設定	4
2.	読み取り許可設定	6
3.	各コードオプションの設定	8
3.1.	EAN -13 および EAN-8、UPC-A、UPC-E、Code 39 オプション	8
3.2.	2 of 5 オプション	10
3.3.	NW-7(Codabar)、GS1 DataBar Omnidirectional オプション	11
3.4.	Coda 93、Code128、GS1-128、その他コードのオプション	12
4.	文字列オプション	14
4.1.	プリフィックスの設定	14
4.2.	サフィックスの設定	16
5.	直接入力	18
5.1.	直接数字入力	18
5.2.	直接アルファベット大文字入力	19
5.3.	直接アルファベット小文字入力	21
5.3.	データ付加(改行コード)	23
5.4.	その他直接文字入力	24
6.	桁数の設定	25
第 3 部	バーコードリーダー動作の設定	26
1.	読み取りオプション	26
1.1.	読み取りモードオプション	26
1.2.	読み取り時間オプション	27
1.3.	オートトリガオプション	28
1.4.	読み取り照合回数	29
1.5.	反転バーコード	30
1.6.	投光 LED	31
2.	インジケータオプション	32
2.1.	ブザー設定	32
2.2.	読み取り確認 LED	33
3.	その他	34

3.1. キーボード言語設定	34
3.2. キャラクタ間ディレイ	35

第 1 部 メニューバーコードの設定方法と初期化

1. メニュー設定状態への移行と設定完了

本機でメニューバーコードを使い、設定を変更するには、通常の読み取り動作状態からメニュー設定状態に移行する必要があります。メニュー設定状態への移行には開始 (SET) を、メニュー設定を記憶・設定完了させ通常読み取り動作状態へ戻す際には終了 (END) のメニューバーコードを読み取らせてください。

開始 (SET)/終了 (END) のメニューバーコードの読み取りと、メニュー設定中の各メニューバーコードの読み取り時は、通常の読み取り動作時とは異なるブザー音「ピロリ」が鳴り、読み取り (青色) LED が点灯します。

また、開始 (SET) 読み取り、メニュー設定を完了するまでの間は、メニュー設定状態を知らせるブザー音「ピッ、ピッ、・・・」が鳴動し、自動読み取り状態となり赤色光 (投光 LED) の点灯を継続します。

この間はトリガキーの操作は不要です。

設定途中に電源を切らない (USB 接続を取り外さない) ください。この様な場合は、設定が記憶されないため最初から設定をやり直してください。

メニュー設定後に電源を切る場合は、終了 (END) 読み取り時の「ピロリ」音の鳴動完了後、間をおいて (2 秒程度) から行ってください。

2. メニューバーコードの読み取り

ユーザーズメニューブックには多くのメニューバーコードが記載されています。不要なバーコードの読み取りを防ぐため、メニューバーコード表上の設定バーコードは左右にずらして記載しています。

バーコードリーダーとメニューバーコードの距離は投光 LED の幅を目安にして下図例を参考に調整してください。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ		
単発読み	S0		
複数読み	S1		
トリガを無効にする	S7		
トリガを有効	S8		

不要なメニューバーコードを読み取ってしまった場合、例えば A という設定を無効にするメニューバーコードを読み取った際はそのまま設定を継続し、それを有効にするメニューバーコードを読み取らせてください。最後に読み取った設定が反映されます。



また、誤って読み取ったメニューが、不明な場合は終了 (END) を読ませずに電源を切り再度設定をやり直すか、終了 (END) を読ませた後に 3. デフォルトオプション に記載の初期設定を行った上で最初から設定をやり直してください。

このほか、以下にご留意いただくことで誤読の軽減につながります。

- ・設定不要なメニューバーコードを手で覆い隠す。
- ・バーコードリーダーの読み取り窓の向きはあまり動かさず、バーコードリーダー全体を移動する。
- ・バーコードリーダーとメニューバーコード間の距離はあまり離さない。離しますと、リーダーの小さな動きでも読み取り光は大きく動きます。

3. デフォルトオプション

デフォルトオプションは、それまで設定した内容を取り消し、初期設定(工場出荷時設定)に戻します。
以降、各設定項目の初期設定状態は斜体太字で表示されています。

	コード	メニューバーコード
開始 (SET)	ZZ	
初期設定	BAP	
終了 (END)	ZZ	













第 2 部 読み取りコードの設定



















PA-BR-001 は、様々な読み取りコードを読み取りることができます。ご利用目的に合わせ読み取りコードを選択し、読み取りオプションを最適化することでより良いご利用が可能となります。本項目では、下記設定を行います。

1. 読み取りコードを選択します。読み取り許可設定を行うことで選択した読み取りコードが読み取り対象となります。
2. 読み取り許可した読み取りコードのオプション設定を行います。
3. CD 計算する / しない等の各種オプションを設定します。

1. 単独読み取り許可設定


















設定したバーコード種別のみ読み取りを行います。いくつかのバーコードのみを設定したい場合は、単独読み取り設定許可を行い、次項 2.読み取り許可設定 で許可種別を増やすことが可能です。














	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
アドオンを除く 全コード	A0		 A 0
UPC のみ	J1	 J 1	
UPC アドオン 2 桁のみ	J2		 J 2
UPC アドオン 5 桁のみ	J3	 J 3	
EAN のみ	J4		 J 4
EAN アドオン 2 桁のみ	J5	 J 5	
EAN アドオン 5 桁のみ	J6		 J 6
Code 39 のみ	A2	 A 2	
Tri-Optic のみ	JD		 J D
NW-7(Codabar) のみ	A3	 A 3	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
Industrial 2 of 5 のみ	J7		 J 7
Interleaved 2 of 5 のみ	J8	 J 8	
Code 93 のみ	A5		 A 5
Code 128 のみ	A6	 A 6	
GS1-128 のみ (Code 128 が有効である ことが必要です)	JF		 J F
S-Code のみ	RA	 R A	
MSI/Plessey のみ	A7		 A 7
UK/Plessey のみ	A1	 A 1	
TELEPEN のみ	A9		 A 9
Chinese Post Matrix 2 of 5 のみ	JE	 J E	
IATA のみ	A4		 A 4
GS1 DataBar Omnidirectional のみ	J9	 J 9	
GS1 DataBar Limited のみ	JJ		 J J
GS1 DataBar Expanded のみ	JK	 J K	
Code 11 のみ	BLB		 B L B
Korean Postal Authority Code のみ	JL	 J L	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

2. 読み取り許可設定

前項 1.単独読み取り許可設定 とは異なり、それまで設定の読み取り許可バーコード種別を有効のまま、新たに追加することが可能です。













	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
アドオンを除く 全コード	A0		 A 0
UPC 許可	R1	 R 1	
UPC アドオン 2 桁許可	R2		 R 2
UPC アドオン 5 桁許可	R3	 R 3	
EAN 許可	R4		 R 4
EAN アドオン 2 桁許可	R5	 R 5	
EAN アドオン 5 桁許可	R6		 R 6
Code 39 許可	B2	 B 2	
Tri-Optic 許可	JZ		 J Z
NW-7(Codabar) 許可	B3	 B 3	
Industrial 2 of 5 許可	R7		 R 7
Interleaved 2 of 5 許可	R8	 R 8	
Code 93 許可	B5		 B 5
Code 128 許可	B6	 B 6	
GS1-128 許可 (Code 128 が有効である ことが必要です)	OG		 O G
終了 (END)	ZZ	 Z Z	

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
S-Code 許可	R9		 R 9
MSI/Plessey 許可	B7	 B 7	
UK/Plessey 許可	B1		 B 1
TELEPEN 許可	B9	 B 9	
Chinese Post Matrix 2 of 5 許可	JS		 J S
IATA 許可	B4	 B 4	
GS1 DataBar Omnidirectional 許可	JX		 J X
GS1 DataBar Limited 許可	JY	 J Y	
GS1 DataBar Expanded 許可	DR		 D R
Code 11 許可	BLC	 B L C	
Korean Postal Authority Code 許可	WH		 W H
終了 (END)	ZZ	 Z Z	

3. 各コードオプションの設定

3.1. EAN-13 および EAN-8、UPC-A、UPC-E、Code 39 オプション

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ		
UPC-A 先頭0あり CD 転送	E2		
UPC-A 先頭0なし CD 転送	E3		
UPC-A 先頭0あり CD 転送なし	E4		
UPC-A 先頭0なし CD 転送なし	E5		
UPC-E 先頭0あり CD 転送	E6		
UPC-E 先頭0なし CD 転送	E7		
UPC-E 先頭0あり CD 転送なし	E8		
UPC-E 先頭0なし CD 転送なし	E9		
終了 (END)	ZZ		

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
EAN-13: CD を転送しない	6J		 6 J
EAN-13: CD を転送する	<i>6K</i>	 6 K	
EAN-8: CD を転送しない	6H		 6 H
EAN-8: CD を転送する	<i>6I</i>	 6 I	
Code 39: CD を計算する	C0		 C 0
Code 39: CD を計算しない	<i>C1</i>	 C 1	
Code 39: CD を転送する	<i>D9</i>		 D 9
Code 39: CD を転送しない	D8	 D 8	
Code 39: ST/SP を 転送する	D0		 D 0
Code 39: ST/SP を 転送しない	<i>D1</i>	 D 1	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

3.2. 2 of 5 オプション

2 of 5 には以下コードが含まれます。

Industrial 2 of 5

Interleaved 2 of 5
















S-Code

Matrix 2 of 5















Chinese Post Matrix 2 of 5









	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
2 of 5: CD を計算 しない	<i>G0</i>		 G 0
2 of 5: CD を計算する	G1	 G 1	
2 of 5: CD を転送する	<i>E0</i>		 E 0
2 of 5: CD を転送しない	E1	 E 1	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

3.3. NW-7(Codabar)、GS1 DataBar Omnidirectional オプション

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
NW-7(Codabar): CD を計算しない	<i>H7</i>		 H 7
NW-7(Codabar): CD を計算する	H6	 H 6	
NW-7(Codabar): CD を転送する	<i>H8</i>		 H 8
NW-7(Codabar): CD を転送しない	H9	 H 9	
NW-7(Codabar): ST/SP を転送しない	F0		 F 0
NW-7(Codabar): ST/SP: ABCD/TN*E	F1	 F 1	
NW-7(Codabar): ST/SP: abcd/tn*e	F2		 F 2
NW-7(Codabar): ST/SP: ABCD/ABCD	<i>F3</i>	 F 3	
NW-7(Codabar): ST/SP: abcd/abcd	F4		 F 4
GS1 DataBar Omnidirectional: CD を転送しない	DM	 D M	
GS1 DataBar Omnidirectional: CD を転送する	<i>DL</i>		 D L
GS1 DataBar Omnidirectional: アプリケーション識別子を 転送しない	DT	 D T	
GS1 DataBar Omnidirectional: アプリケーション識別子を 転送する	<i>DS</i>		 D S
終了 (END)	ZZ	 Z Z	

3.4. Coda 93、Code128、GS1-128、その他コードのオプション

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
Code 93: CD を計算しない	9Q		 9 Q
Code 93: CD を計算する	AC	 A C	
Code128/GS1-128: CD を計算しない	<i>MF</i>		 M F
Code128/GS1-128: CD を計算する	ME	 M E	
MSI/Plessey: CD を計算しない	4A		 4 A
MSI/Plessey: CD1 を計算する	<i>4B</i>	 4 B	
MSI/Plessey: CD を転送する	4E		 4 E
MSI/Plessey: CD を転送しない	<i>4G</i>	 4 G	
UK/Plessey: CD を転送する	<i>4N</i>		 4 N
UK/Plessey: CD を転送しない	40	 4 0	
IATA: CD を転送する	<i>4L</i>		 4 L
IATA: CD を転送しない	4M	 4 M	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
Code 11: CD を計算しない	BLF		 B L F
Code 11: CD1 を計算する	BLG	 B L G	
Code 11: CD2 を計算する	BLH		 B L H
Code 11: CD1 または CD2 を計算する	<i>BLI</i>	 B L I	
Code 11: CD を転送する	BLK		 B L K
Code 11: CD を転送しない	<i>BLJ</i>	 B L J	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

4. 文字列オプション
















プリフィックス・サフィックスの文字列(最大 4 文字)を設定します。








手順は設定を行いたいバーコード種のメニューバーコードを読み取り、5.直接入力 から設定したい文字のメニューバーコードを続けて読み取り、終了(END)の読み取りで完了させてください。

数字、アルファベット大文字、アルファベット小文字が使用可能です。文字種類の混在も可能です。



















個別／特定のバーコード種のみプリフィックス・サフィックスをクリアしたい場合は、バーコード種のメニューコード読み取り後、直接入力をせずに終了(END)で完了させてください。









4.1. プリフィックスの設定

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
全コード	RY		 R Y
UPC-A	N1	 N 1	
UPC-A アドオン	M0		 M 0
UPC-E	N2	 N 2	
UPC-E アドオン	M1		 M 1
EAN-13	N3	 N 3	
EAN-13 アドオン	M2		 M 2
EAN-8	N4	 N 4	
EAN-8 アドオン	M3		 M 3
Code 39	M4	 M 4	
NW-7(Codabar)	M5		 M 5
Industrial 2 of 5	M6	 M 6	
Interleaved 2 of 5	M7		 M 7
Code 93	M8	 M 8	

Code 128	M9		 M 9
S-Code	MB	 M B	
MSI/Plessey	N0		 N 0
Matrix 2 of 5	GL	 G L	
IATA	I8		 I 8
GS1 DataBar Omnidirectional	OE	 O E	
Code 11	BLD		 B L D
Korean Postal Authority Code	*\$	 * \$	
全プリフィックスをクリアする	MG		 M G
プリアンプル (コモンプリフィックス)	MZ	 M Z	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

4.2. サフィックスの設定












	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
全コード	RZ		 R Z
UPC-A	N6	 N 6	
UPC-A アドオン	00		 0 0
UPC-E	N7	 N 7	
UPC-E アドオン	01		 0 1
EAN-13	N8	 N 8	
EAN-13 アドオン	02		 0 2
EAN-8	N9	 N 9	
EAN-8 アドオン	03		 0 3
Code 39	04	 0 4	
NW-7(Codabar)	05		 0 5
Industrial 2 of 5	06	 0 6	
Interleaved 2 of 5	07		 0 7
Code 93	08	 0 8	
Code 128	09		 0 9
S-Code	0B	 0 B	
MSI/Plessey	N5		 N 5

Matrix 2 of 5	GM		
IATA	I9		
GS1 DataBar Omnidirectional	PQ		
Code 11	BLE		
Korean Postal Authority Code	*%		
全サフィックスをクリアする	PR		
ポストアンブル (コモンサフィックス)	PS		
終了 (END)	ZZ		



















5. 直接入力










プリフィックス・サフィックスの文字列(最大 4 文字)設定時に使用します。

5.1. 直接数字入力



















	コード	メニューバーコード	
0	Q0	 Q 0	
1	Q1		 Q 1
2	Q2	 Q 2	
3	Q3		 Q 3
4	Q4	 Q 4	
5	Q5		 Q 5
6	Q6	 Q 6	
7	Q7		 Q 7
8	Q8	 Q 8	
9	Q9		 Q 9
終了 (END)	ZZ	 Z Z	










5.2. 直接アルファベット大文字入力

	コード	メニューバーコード	
A	0A		
B	0B		
C	0C		
D	0D		
F	0E		
F	0F		
G	0G		
H	0H		
I	0I		
J	0J		
K	0K		
L	0L		
M	0M		
N	0N		
O	0O		
P	0P		
Q	0Q		
R	0R		

S	0S		
T	0T		
U	0U		
V	0V		
W	0W		
X	0X		
Y	0Y		
Z	0Z		
終了 (END)	ZZ		

5.3. 直接アルファベット小文字入力











	コード	メニューバーコード	
a	\$A		
b	\$B		
c	\$C		
d	\$D		
e	\$E		
f	\$F		
g	\$G		
h	\$H		
i	\$I		
j	\$J		
k	\$K		
l	\$L		
m	\$M		
n	\$N		
o	\$O		
p	\$P		
q	\$Q		
r	\$R		

s	\$S		
t	\$T		
u	\$U		
v	\$V		
w	\$W		
x	\$X		
y	\$Y		
z	\$Z		
終了 (END)	ZZ		

5.3. データ付加(改行コード)

サフィックスに設定する改行コードは以下 4 通りが設定可能です。

②は一部、旧タイプのキーボードで「実行キー(右側 Ctrl キー)」に対応させるための設定です。
キーを押して放すという 2 つの動作を送信するため、下表のとおり「押す」と「放す」で“7X”を 2 回読み取らせてください。

		コード	メニューバーコード	
開始 (SET)		ZZ	 Z Z	
① 改行 付加	1) サフィックス 設定	RZ		 R Z
	2) “Enter”を 付加	7I	 7 I	
② 実行 付加	1) サフィックス 設定	RZ		 R Z
	2) “Ctrl”を 押す	7X	 7 X	
	3) “Ctrl”を 放す	7X		 7 X
③ TAB 付加	1) サフィックス 設定	RZ	 R Z	
	2) TAB を 付加	7H		 7 H
④ 付加 なし	1) サフィックス 削除	PR	 P R	
終了 (END)		ZZ		 Z Z

5.4. その他直接文字入力

印刷開始コマンド“^FF”をサフィックスに付加させることで、バーコードコピーを行いたい場合に、コピー対象のバーコードを読み取らせるだけでラベルプリンターの印刷を開始します。

改めて印刷開始コマンドのバーコードを読み取らせる必要がありません。

以下は、全バーコード種を対象に印刷開始コマンドを付加する設定と、これを解除(全サフィックスをクリア)する一括設定メニューです。

これまでのメニュー設定手順:開始(SET)～終了(END)の読み取りを行うことなく、以下メニューバーコードのみを読み取ることで設定が完了します。


全バーコード種を対象に印刷開始コマンドを付加する一括設定メニュー

	メニューバーコード
全バーコード種のサフィックスに印刷開始コマンド“^FF”を付加する	

サフィックスを“^FF”に設定した際の注意事項

- ・テンプレート番号の変更はできません。初期設定のテンプレート番号のみのバーコードコピーでお使いください。
- ・1 個のバーコードを読み取ると同時に印刷を開始しますので、複数のバーコードを読み取るテンプレート印刷の際には、下記の印刷コマンドを解除(全サフィックスをクリア)する一括設定メニューのバーコードを読み取るか、初期設定状態に戻してください。

印刷開始コマンドを解除(全サフィックスをクリア)する一括設定メニュー

	メニューバーコード
全サフィックスをクリア	



6. 桁数の設定

既知の長さのバーコードを読み取る場合、桁数固定の設定をすることで、読み取りラベルが正しい長さかを照合し、指定された長さではないラベルの出力を行いません。桁数固定は2つまで設定できます。

部分読み取りに対して十分なセキュリティが備えられていない Interleaved 2 of 5 などの読み取りに有効です。

設定手順は、チェック ON のメニューバーコードを読み取り、続けて設定したいバーコード種別・桁数の実際のバーコードラベルの読み取りを行い、終了 (END) のメニューバーコードの読み取りで設定を完了します。

桁数固定は2つまで設定できますが、それぞれ異なるバーコード種別、桁数の設定も可能です。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
全コードの桁数固定チェック OFF	H0		 H 0
全コードの桁数固定チェック ON	H1	 H 1	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

第 3 部 バーコードリーダー動作の設定

1. 読み取りオプション

1.1. 読み取りモードオプション

単発読み:






トリガキーを押すと読み取りを開始し、バーコードを読み取ると、投光 LED の発光を止めて待機状態になります。バーコードを読み取れないときも 2 秒後（初期設定状態）に停止し待機状態になります。

複数読み:

トリガキーを押すと読み取りを開始し、バーコードを読み取りさらに読み取りを続けます。次々とバーコードを読み取ることができますが、同一ラベルは連続して読み取れません。バーコードを読み取れない時間が 2 秒間（初期設定状態）続くと読み取り動作を停止し、待機状態になります。

トリガキー:

「トリガを無効にする」を選択すると、トリガキーを押さなくても動作状況を維持します。ただし、光源である光学部品の寿命に影響しますのでご注意ください。「トリガを有効にする」を選択した場合は読み取り可能時間を設定することができます。









	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ		
単発読み	S0		
複数読み	S1		
トリガを無効にする	S7		
トリガを有効にする	S8		
終了 (END)	ZZ		

1.2. 読み取り時間オプション

読み取り可能時間:







指定された時間内にバーコードを読み取れないときに自動的に読み取り動作を停止する機能です。初期設定状態では 2 秒に設定されています。

なお、トリガキーを使用しない場合は、この機能は無効となります。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
0 sec	Y0		 Y 0
1 sec	Y1	 Y 1	
2 sec	Y2		 Y 2
4 sec	Y4	 Y 4	
6 sec	Y6		 Y 6
読み取り 時間 10 倍	YL	 Y L	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

1.3. オートトリガオプション

バーコードリーダーのオートトリガ(紙面検知) 設定に使用します。






	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
オートトリガを無効にする	+F		 + F
オートトリガを有効にする	+I	 + I	
スタンド検知を無効にする	*5		 * 5
スタンド検知を有効にする	*4	 * 4	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

スタンド検知はバーコードリーダーが専用スタンドに装着されたことを検知する機能です。この機能とオートトリガ機能を併用することでスタンド装着時にオートトリガを有効にすることが可能です。

1.4. 読み取り照合回数

データ照合:

自動的に 2 回以上連続して読み取り、その結果を照合することにより、データの信頼性を高めることができます。


	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
読み取り 1 回 照合回数 = 0	X0		 X 0
読み取り 2 回 照合回数 = 1	X1	 X 1	
読み取り 3 回 照合回数 = 2	X2		 X 2
読み取り 4 回 照合回数 = 3	X3	 X 3	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

1.5. 反転バーコード

通常、バーコードは白地に黒で印刷されますが、黒地に白の場合もあります。

白地に黒を通常（正転）バーコード、黒地に白を反転バーコードといいます。「反転バーコード」オプションを選択した場合、通常（正転）バーコードはデコードされない、またはデコードされるのが難しくなります。

これはメニューラベルにも適用されます。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
通常バーコード	V2		 V 2
反転バーコード	V3	 V 3	
通常および反転バーコード	V4		 V 4
通常バーコード (反転ラベル)	V2	 V 2	
通常および反転バーコード (反転ラベル)	V4		 V 4
開始 / 終了 (反転ラベル)	ZZ	 Z Z	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

1.6. 投光 LED

投光 LED の点灯/消灯を切り替えることで、読み取り性能が改善可能となる場合があります。この点灯の設定が可能です。

- ・LED 点 灯 モード : 投光 LED を点灯して読み取りを行います。初期設定です。
- ・LED 消 灯 モード : 投光 LED を消灯します。液晶画面のバックライト光源での読み取りを想定しています。
- ・LED 点灯自動切換えモード : 投光 LED をそれぞれ点灯時/消灯時で読み取ります。
- ・正 反 射 防 止 モード : 光沢面のバーコード読み取りを想定しています。点灯時の読み取りで取り込んだデータが明るく、読み取りに不相当と判断した場合に消灯し、読み取りを行います。LED を消灯するため、周囲が暗い場合は読み取りができません。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
点灯	D39		 D 3 9
消灯	D3A	 D 3 A	
自動切換え	D3B		 D 3 B
正反射防止	D3Q	 D 3 Q	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

2. インジケータオプション

2.1. ブザー設定

バーコード読み取り時のブザー音の有無、鳴動時間、音量を変更することができます。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
ブザーを 無効にする	W0		 W 0
ソフトウェアブザーを有効に する	W8	 W 8	
単音ブザー	W1		 W 1
高 - 低ブザー	W2	 W 2	
ブザー鳴動 時間 50 msec	W7		 W 7
ブザー鳴動 時間 200 msec	W5	 W 5	
ブザー音量: 最大	T0		 T 0
ブザー音量: 中	T2	 T 2	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

2.2. 読み取り確認 LED

バーコードの読み取り確認用 LED インジケータの点灯有無、点灯時間を変更することができます。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
点灯を無効にする	T4		 T 4
点灯時間: 200 msec	T5	 T 5	
点灯時間: 400 msec	T6		 T 6
終了 (END)	ZZ	 Z Z	

3. その他

3.1. キーボード言語設定

初期設定状態ではキーボード設定は US 言語となっております。














	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
キーボード言語 US 言語	KE		 K E
キーボード言語 日本語	PM	 P M	
終了 (END)	ZZ		 Z Z

3.2. キャラクタ間ディレイ

キャラクタディレイはホスト機器へのデータ送信速度を調整させるために使用します。送信速度が速すぎますと、ホスト機器によっては全てのキャラクタを受信できない場合があります。データが正しく受信されるまでキャラクタ間ディレイを調整してください。

ディレイ時間はスキャナ内部でウェイトを行っている時間となります。

実際の転送時間は、ホスト機器との USB ポーリング間隔で決まるため、以下の時間とは異なります。

	コード	メニューバーコード	
開始 (SET)	ZZ	 Z Z	
ディレイなし	LA		 L A
ディレイ 1 2 msec	LB	 L B	
ディレイ 2 4 msec	LC		 L C
ディレイ 3 6 msec	LD	 L D	
ディレイ 4 8 msec	LE		 L E
ディレイ 5 10 msec	LF	 L F	
ディレイ 6 12 msec	LG		 L G
ディレイ 7 14 msec	LH	 L H	
ディレイ 8 16 msec	LI		 L I
ディレイ 9 18 msec	LJ	 L J	
ディレイ 10 20 msec	LK		 L K
終了 (END)	ZZ	 Z Z	

お問い合わせ先

ブラザーコールセンター
TEL : 0120-590-383
受付時間 : 9:00～12:00/13:00～17:00(月～金)
10:00～12:00/13:00～17:00(土)

※日曜・祝日・弊社指定休日を除きます。
(ブラザーコールセンターは、ブラザー販売株式会社が運営しています。)

お知らせ:

弊社サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)

<http://support.brother.co.jp> では、最新 OS への対応状況、最新ソフトウェアのダウンロード、よくある質問など皆様のお役に立てる情報を提供しております。

※サポートサイト(ブラザーソリューションセンター)には、当社ホームページ

(<http://www.brother.co.jp>)内製品ページからもアクセスすることができます。

2015 年 2 月現在